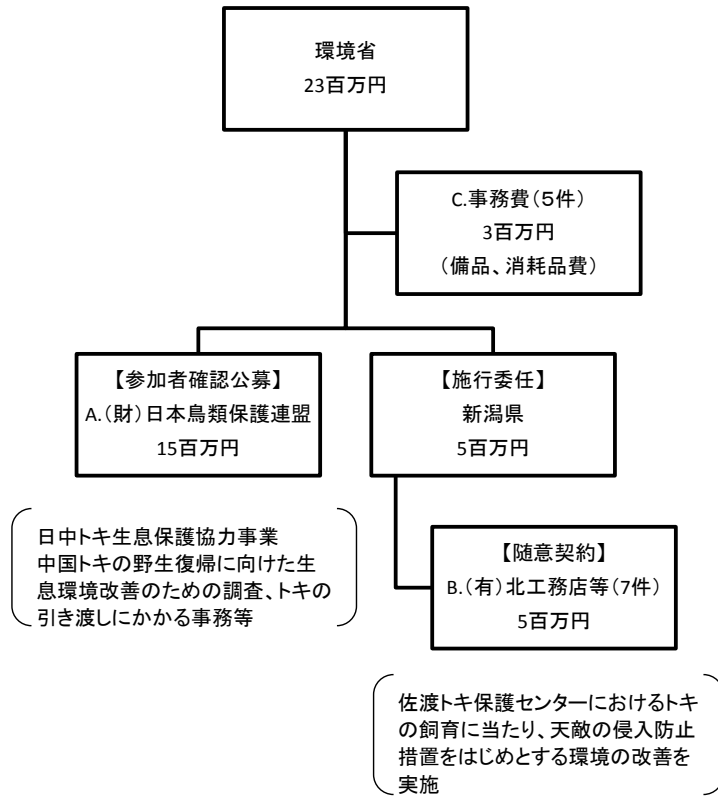


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	トキ生息環境保護推進協力費		<b>担当部局庁</b>	自然環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度		<b>担当課室</b>	野生生物課		課長 亀澤玲治		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	5-3 野生生物の保護管理				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(第46条)		<b>関係する計画、通知等</b>	保護増殖事業計画 日中共同トキ保護計画				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成15年度に締結し、平成22年度に更新した「日中共同トキ保護計画」に位置づけられている、日中のトキ保護協力に関する基本的枠組みに基づき、中国におけるトキの人工繁殖個体の野生復帰技術の向上を図り、日中トキ保護の技術交流を行う。さらに、本事業により得られた結果を我が国におけるトキの野生復帰に役立てる。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	①中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査 ②野生個体群の生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ③野生個体群非生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ④中国へのトキ移送に関する業務 ⑤日中トキ保護国際技術交流会議							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	23	24	22	20	16	
	執行額	23	20	23				
	執行率(%)	98%	82%	103%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	世界でも最も絶滅のおそれが高い鳥類であり、野生下では日中両国だけに生息するトキを絶滅の危機から救う。どのような数値を持って絶滅の危機から脱したと判断するかは検討中のため、定量的な成果目標は示すことができない。			—	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・中国トキの野生復帰に向けた調査 ・日中間のトキ移送 ・日中トキ保護国際技術交流会議開催			式	1	1	1	—
<b>単位当たりコスト</b>	各活動実績についてはまとめて契約し業務執行をしており、実績ごとに費用を分割して算出することは困難であるため、コストは示していない		算出根拠	—				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	自然環境保全調査費	20	16	野生個体群の非生息地域(河南省)における野生復帰・モニタリング技術の検討調査の廃止による減				
	計	20	16					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>今後、日本のトキ個体群の拡大を進めていく上で、遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって、中国との協力関係の強化は必要不可欠であるため、継続して事業を実施する。今後とも効果的かつ効率的に事業を実施していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>効果が数値で表しにくい野生個体群の非生息地域(河南省)における野生復帰・モニタリング技術の検討調査については、廃止を前提とした見直しを行うべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>野生個体群の非生息地域(河南省)における野生復帰・モニタリング技術の検討調査については、廃止。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(財)日本鳥類保護連盟			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑務役費	日中トキ生息保護協力事業費	15			
計		15	計		0
B.(有)北工務店			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	佐渡トキ保護センター野生復帰ステーション繁殖ケージ屋根修繕工事	2			
計		2	計		0
C.(株)新潟コンゴ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	PCR分析機器購入代金	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本鳥類保護連盟	中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査、トキの引き渡しにかかる事務等	15	1	80%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)北工務店	佐渡トキ保護センターにおけるトキの飼育に当たり、天敵の侵入防止措置をはじめとする環境の改善を実施	2	随契	—
2	(株)サニーサニター	佐渡トキ保護センターにおけるトキの飼育に当たり、天敵の侵入防止措置をはじめとする環境の改善を実施	1	随契	—
3	(有)齋藤工業	佐渡トキ保護センターにおけるトキの飼育に当たり、天敵の侵入防止措置をはじめとする環境の改善を実施	0.7	随契	—
4	(有)三浦電気	佐渡トキ保護センターにおけるトキの飼育に当たり、天敵の侵入防止措置をはじめとする環境の改善を実施	0.7	随契	—
5	遠藤建設(株)	佐渡トキ保護センターにおけるトキの飼育に当たり、天敵の侵入防止措置をはじめとする環境の改善を実施	0.3	随契	—
6	(有)西香園	佐渡トキ保護センターにおけるトキの飼育に当たり、天敵の侵入防止措置をはじめとする環境の改善を実施	0.1	随契	—
7	(株)サニーサニター	佐渡トキ保護センターにおけるトキの飼育に当たり、天敵の侵入防止措置をはじめとする環境の改善に必要な物品購入	0.2	随契	—
8					
9					
10					

C	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)新潟コンゴ	トキの飼育管理に係る遺伝子分析機器一式の購入	2	1	90%
2	(株)新潟コンゴ	トキ生息環境保護推進に必要な物品購入等	0.3	随契	—
3	(有)佐渡農機	トキ生息環境保護推進に必要な物品購入等	0.3	随契	—
4	(株)オリス	トキ生息環境保護推進に必要な物品購入等	0.3	随契	—
5	アークランドサカモト HCムサン	トキ生息環境保護推進に必要な物品購入等	0.003	随契	—
6					
7					
8					
9					
10					